

平成27年度

岡山県立博物館協議会

第2回 開催要項

日時：平成28年3月17日(木) 14:00～16:00
会場：岡山県立博物館 「講堂」

1 開会

2 議題

(1) 平成27年度事業について

- ア 展覧会
- イ 教育普及事業
- ウ 入館状況

(2) 平成28年度事業(案)について

- ア 展覧会
- イ 予算

(3) 長期展覧会計画(案)について

(4) サービス向上への取り組みについて

(5) その他

3 閉会

岡山県立博物館 平成27年度年間展示実績

平成28年3月15日現在

| | 第1室 (考古) | 第2室 (歴史・美術) | 第3室 (通史・特別陳列ほか) | 第4室 (備前焼・刀剣・民俗) | オープン スペース | 2階ホール |
|------------------------------------|---------------------------------------|--|--|---|----------------------------------|-----------------|
| (3/24)～4/19 春季展(2) 27(24)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— | 桜咲く～花見の歴史～ 岡山の宗教美術～観音信仰と巡礼～ 岡山の荘園、長州征討から戊辰戦争へ | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆特別陳列「奇贈資料紹介 奇傑 古川古松軒の真筆資料」 | おかやまのやきもの 備前・備中・備後の刀剣 | ちやぶ台の ある風景 桃の節句 | |
| 4/22～5/31 春季展(3) 40(34)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— | 岡山の宗教美術～岡山の浄土信仰～ 岡山の書 大坂の陣と池田氏 | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆特別陳列「岡山を訪れた勤王の志士 ～久坂玄瑞、桂小五郎、坂本龍馬の足跡～」 | 備前刀の歴史(赤羽刀) 備前焼の歴史 郷原漆器 色々威甲冑 | ちやぶ台の ある風景 春の行楽 端午の節句 | 石谷家文書 パネル展示 |
| 6/2～7/12 夏季展(1) 41(36)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— | 岡山の宗教美術～神と仏～ 岡山の書 近世の医学書 | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆特別陳列「文人画の世界 ～浦上玉堂から黒田綾山まで」 | 備前刀の歴史(赤羽刀) 備前焼の歴史 郷原漆器 | ちやぶ台の ある風景 ちいちゃんの かげおくり | 石谷家文書 パネル展示 |
| 7/16～9/13 企画展・夏季展(2) 60(52)日 | カルチャーゾーン30周年記念 ☆企画展「岡山カルチャーゾーンの魅力」 | | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 後樂園の小品 | 備前刀の歴史(戦国刀) 備前焼の歴史 錦莖莖 | ちやぶ台の ある風景 ちいちゃんの かげおくり | カルチャーゾーン の展示 |
| 9/18～11/8 秋季展(1) 52(45)日 | ☆特別展「破格—桃山備前—」 | | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 伊能忠敬と歩いた人 窪田浅五郎 | 備前刀の歴史(戦国刀) 備前焼の歴史 備中神楽面 | ちやぶ台の ある風景 | |
| 11/13～12/23 特別展(2) 41(35)日 | | | ☆特別展「発掘された日本列島2015—新発見考古速報—」 | | | ビデオコーナー |
| 1/1～1/17 冬季展(1) 17(15)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— | 岡山の宗教美術～釈迦の美術～ 世界記憶遺産 東寺百合文書と新見荘 日本遺産 閉谷学校関係資料 | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 十二支屏風 | 備前刀名品選 細工物(備前焼) ☆特別陳列「国宝 赤韋威鎧」 正月の装い | ちやぶ台の ある風景 正月の遊び | |
| 1/22～2/21 冬季展(2) 32(28)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— | 岡山県・鳥取県交流事業 ☆交流展「鳥取藩池田家32万石」 | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 岡山藩池田家の系譜 | 備前刀名品選 細工物(備前焼) 正月の装い | ちやぶ台の ある風景 正月の遊び | |
| 2/25～3/21 春季展(1) 25(22)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— | 岡山の宗教美術～密教信仰と図像～ ☆特別陳列「岡山県指定重要文化財指定記念 「牛窓本蓮寺と朝鮮通信使」 | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆特別陳列「人々のくらしと古い ～大国家文書の世界～」 | 備前刀(新刀・新々刀) 備前焼の歴史 逸見東洋の世界 | ちやぶ台の ある風景 桃の節句 | |
| 3/23～(4/17) 春季展(2) 22(26)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— | 岡山の宗教美術～熊野信仰と修験道～ ☆特別陳列「戦国武将の新出資料」 小早川秀秋-関ヶ原の戦い後の岡山- | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 人々のくらしと古い ～大国家文書の世界～ | 備前刀(新刀・新々刀) 備前焼の歴史 逸見東洋の世界 | ちやぶ台の ある風景 桃の節句 | |

展 覧 会 自 己 評 価 シ ー ト

| | | | | | | | | | | |
|--|-------|--------|-------------|--------|---|------|----------------------------|---------|--------|---------|
| 展覧会名 特別展「破格——桃山備前——」 | | | | | 開催期間 | | 平成27年9月18日(金) ～11月8日(日) | | | |
| 入館者等 | 目標(A) | 6,000人 | 実績(B) | 8,387人 | 達成率(B/A) | 140% | 収入予算額 | 1,719千円 | 実績 | 1,675千円 |
| | 一 般 | 5,323人 | 65歳以上 | 2,136人 | その他 | 928人 | 支出予算額 | 4,382千円 | 実績(見込) | 4,382千円 |
| 展示の趣旨・目的 備前焼の名品は県外にあることが多く、実際に見る機会は少ない。そうした名品を一堂に展覧し、岡山県が誇るやきものである備前焼の魅力を再確認する。同時に、作家や茶人の方の協力を得て、様々な視点から作品を鑑賞できる展覧会を目指した。 | | | | | | | | | | |
| 入館者アンケート | | | | | | | | 満足度 | 77% | |
| <肯定的>・桃山以降の備前茶器の説明、平常目に出合のない名器のものがよかった。 ・期待以上にいいに展示されていた。3Dの「只今」を手にとれたり、多くの作家が「只今」が展示していたのは面白い。 ・お茶道具としての備前が一望できてよかったです。 <否定的>・テーマの設定としては面白く、展示品もよかったが、「破格」の意味とするところと、意図するところは、伝わりにくかったように思う。誰しもが解説を読むわけではないので。映像のようなものをいれてもよかったのではないかな。 ・すべて、目線の高さやライトの関係で展示が見にくい。したの布の色も考えて頂きたい。 元々の「只今」をもっと印象的に展示した方が、この展覧会の目指すものがわかりやすかったと思う。 | | | | | | | | | | |
| 自己評価 | | | 全体評価 | | | | | | | |
| 充実した作品がそろい、作家の方をはじめ、備前焼にかかわる様々な分野の方から協力が得られた。展示の意図に共感して下さる方には高い評価をいただいたが、そうではない方からは批判的なご意見をいただいた。 | | | | | | | | | | |
| 個別評価 | | | | | 工夫・改善点 | | | | | |
| ①資料調査 全国各地の所蔵者に出品をお願いした。写真撮影を担当者が行うことに難色を示す所蔵者もいた。そのため、各地に数度足を運ぶ必要があり、時間と費用がかかった。 | | | | | カメラマンをお願いする費用を用意するなど、展覧会を計画する上での体勢を見直す必要がある。 | | | | | |
| ②資料借用 作品には保管箱など付属品が多く手間がかかるものが多かったが、事前調査時に把握していたので作業は順調であった。 | | | | | 多数の借用先を一時期にまわるため、調整が難航した。地域毎に時期を分けて、無理の無い借用ができる環境をつくる必要がある。 | | | | | |
| ③展 示 充実した作品がそろった展示となった。やきものの魅力が鑑賞できる環境づくりを考えて、試行錯誤を繰り返した。 | | | | | 事前に把握はしていたが、照明、展示ケースなどが、やきものを展示するには適した環境では無い。大幅に改善する必要がある。 | | | | | |
| ④返 却 借用時には打ち合わせをしておいたため順調であったが、限られた期間と時期に返却する必要があり、一部の所蔵者に無理をお願いすることになった。 | | | | | 所蔵者の都合を優先できるように、余裕をもたせた計画がたてられる環境をつくる必要がある。 | | | | | |
| ⑤図録等作成 多くの方のご意見をとり入れた図録となった。印刷業者との打ち合わせが十分ではなく、作業に時間がかかった。品質について、大きな課題が残った。 | | | | | 多くの意見を取り入れるうち、予算内におさまらないものになった。展覧会図録をどのようなものにするか、検討が必要である。業者の選定と打ち合わせ方法も見直す必要がある。 | | | | | |
| ⑥関連行事 講演、討論、解説、呈茶など、いろいろな形の行事を試みた。 | | | | | 入館者数を大きく増やす企画が少なかった。関連行事の目的や意図を明確にした上で、企画を考える必要がある。 | | | | | |
| ⑦広 報 備前焼ミュージアムと連携企画を行った。展覧会について、共催の新聞社には数回取り上げられたが、それ以外のテレビなどの報道機関に取り上げられることは少なかった。 | | | | | 連携企画について報道機関に取り上げてもらう機会は少なく、景品がほとんど残った。主催者に加わる報道機関や協力者を探し、広報費用を増やす工夫が必要がある。 | | | | | |
| 【その他】 ■報道関係 新聞への掲載回数 27回 | | | | | | | | | | |

展 覧 会 自 己 評 価 シ ー ト

| | | | | | | | | | | | |
|--|-------|-----------------------------|-------|--------|-----------------------------|--------|-------|---------|------------------------------|---------|--|
| 展覧会名 | | 特別展「発掘された日本列島2015—新発見考古速報—」 | | | | | 開催期間 | | 平成27年11月13日(金) ～12月23日(水) | | |
| 入館者等 | 目標(A) | 8,000人 | 実績(B) | 9,626人 | 達成率(B/A) | 120% | 収入予算額 | 2,089千円 | 実績 | 2,402千円 | |
| | 一般 | 5717人 | 65歳以上 | 2129人 | その他 | 1,780人 | 支出予算額 | 6,331千円 | 実績(見込) | 6,331千円 | |
| 展示の趣旨・目的 | | | | | | | | | | | |
| 国民に歴史や文化財への理解と関心を深めてもらうことを目的に、日本列島各地で近年とくに注目された発掘成果やその出土品を紹介する全国巡回展である。あわせて、岡山県立博物館独自の地域展示を開催した。 | | | | | | | | | | | |
| 入館者アンケート | | | | | | | | 満足度 | 89% | | |
| <p><肯定的> ・わかりやすさに重点をおいてくださっている印象が好感的でした。・大学生のガイドがよかった。</p> <p>・展示物が時代の流れに沿って展示されていて分かりやすかったです。・オリジナルの消しゴムハンコも良かったです。</p> <p>・地域展示が充実していて見応えがあった。・珍しい物をガラス越しでなく、近づいて見られてよかった。</p> <p><否定的> ・少し物足りないように感じた。説明の看板がもう少し欲しい。</p> <p>・展示スペースが狭いため他館の以前の展観と比べて展示が少ないのでは？</p> <p>・どこから発掘されたかの表記十年代をつけてほしかった。</p> | | | | | | | | | | | |
| 自己評価 | | 全体評価 | | | | | | | | | |
| 中核展示(巡回展)・地域展示とも、多種多様な出土品が多数展示された。さらに、関係団体との連携によって相乗効果を図ることができ、全体的に多彩で充実した内容となった。 | | | | | | | | | | | |
| 個別評価 | | | | | 工夫・改善点 | | | | | | |
| ①資料調査 関係機関との連絡調整をこまめに行い、情報共有に努めた。 | | | | | 早期の事前準備と関係機関との連絡調整を綿密に行う。 | | | | | | |
| ②資料借用 資料点数が多かったため、点検や梱包にミスがないよう留意した。 | | | | | 借用計画を十分に検討し、全体の状況把握を心がける。 | | | | | | |
| ③展 示 展示品が多種多様で点数も多いことから、効果的な展示になるようレイアウトや見せ方を工夫した。 | | | | | 展示手法の充実及び展示施設・設備の改善に取り組む。 | | | | | | |
| ④返 却 資料点数が多かったため、点検や梱包にミスがないよう留意した。 | | | | | 返却計画を十分に検討し、全体の状況把握を心がける。 | | | | | | |
| ⑤図録等作成 広報印刷物や配布資料などを作成し、展覧会内容の充実を図った。 | | | | | 作成計画の十分な検討と、内容充実を図る。 | | | | | | |
| ⑥関連行事 展覧会の内容と連動した5つの関連行事を実施し、いずれも盛況だった。 | | | | | 事前準備の効率化と予算確保、会場・設備の改善に努める。 | | | | | | |
| ⑦広 報 新聞社、テレビ局への広報、SNSなど、色々な媒体での情報発信に努めた。 | | | | | より効果的な広報ができるよう情報収集に努める。 | | | | | | |
| 【その他】 ■報道関係 新聞への掲載回数 36回 RSKテレビ、ラジオでのコマーシャル放映 | | | | | | | | | | | |

展 覧 会 自 己 評 価 シ ー ト

| | | | | | |
|--|---------------------|---|--|----------------------|-----------------------|
| 展覧会名 交流展「鳥取藩池田家三十二万石」 | | 開催期間 平成28年1月21日(木) ～ 2月21日(日) | | | |
| 入館者等 | 目標(A) 6,000人 | 実績(B) 4,676人 | 達成率(B/A) 78% | 収入予算額 742千円 | 実績 434千円 |
| | 一 般 2,624人 | 65歳以上 1,409人 | その他 643人 | 支出予算額 2,881千円 | 実績(見込) 2,881千円 |
| 展示の趣旨・目的 寛永9(1632)年に備前国から因幡・伯耆国へ入封した池田光仲を祖とする、鳥取藩池田家32万石を取り上げる。慶長8(1603)年から因幡・伯耆国へ移動するまでの備前国内のを知ることのできる史料も含め、現在の岡山県と鳥取県との接点を紹介する。これにより、両県の歴史・文化遺産を活用した交流を一層促進する。 | | | | | |
| 入館者アンケート | | | | 満足度 | 78% |
| <肯定的>・岡山・鳥取の藩主の流れがよく分かった。 ・いつも人物関係が分からなくて混乱するが、一人の視点に固定した紹介をしてくれたところが分かりやすくよかった。 ・池田家目当てにきましたが、常設展示がとても良かった。正阿弥勝義を知ることができたのが嬉しいです。 | | | | | |
| <否定的> ・4室のうち鳥取藩に関する物が一室では物足りない、期待の方が大 ・池田家の□□の記述が無い。只の展示物紹介 ・岡山と鳥取の池田家について鳥取藩のことについてもう少し何かインパクトのあるものがほしかった。 | | | | | |
| 自己評価 | | 全体評価 | | | |
| 鳥取県を治めた鳥取藩池田家に関する文化財を、藩主の肖像画を中心にしながら紹介することができた。池田光仲以前の歴代当主に関連する文化財も展示できたので、鳥取藩と岡山藩の池田家について理解を深めていただけたのではないかと考えている。あわせて、林原美術館においても連携展示を開催したため、話題提供だけでなく、より幅広く池田家に関する文化財に触れていただく機会を作れたのではないかと。 | | | | | |
| 個別評価 | | | 工夫・改善点 | | |
| ①資料調査 早期から鳥取県立博物館担当者と打合せを行ってきたので、比較的スムーズに借用が行えた。 | | | 多少サイズが大きい文化財があり、実際に確認したのは借用時だった。今後は、借用前の調査をもう少し綿密にしたい。 | | |
| ②資料借用 事前の打ち合わせができていたので、特段問題はなかった。 | | | 相手先、業者との細かな打合せを実施した。 | | |
| ③展 示 藩主画像を中心に展示を実施した。 | | | 展示テーマを早期に設定し、テーマにあわせた展示計画を立案した。 | | |
| ④返 却 当初の予定通り、問題なく返却ができた。 | | | 相手先、業者との打合せを、細かな点まで実施した。 | | |
| ⑤図録等作成 リーフレット作成に関して、説明に一部誤記があった。 | | | チラシや図録作成時に、副担当と共に確認する等のチェック体制をとるようにする。 | | |
| ⑥関連行事 林原美術館とのリレー展示解説を行った。 | | | 講座の開催が遅い時期にかたまつたので、会期中バランス良く配置できるよう気をつけたい。 | | |
| ⑦広 報 県広報も含めて、可能な限り広報を行うことができた。広島や愛媛、岐阜などの地方新聞にも紹介してもらった。 | | | 社会教育施設や関連団体への広報を行う。 | | |
| 【その他】 ■報道関係 新聞への掲載回数 28回 林原美術館の企画展と連動したお陰で、多くのマスコミに取り上げてもらえた。 | | | | | |

イ 教育普及事業

(H27は、2月28日現在)

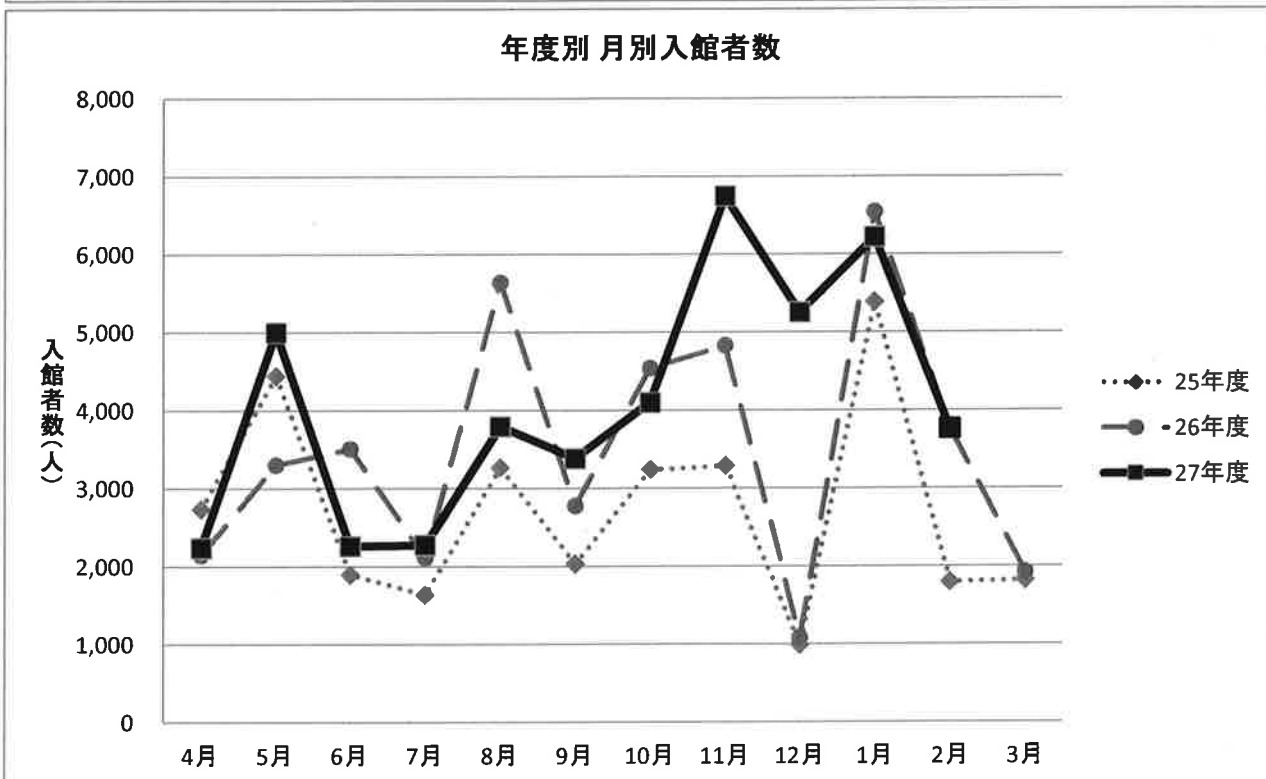
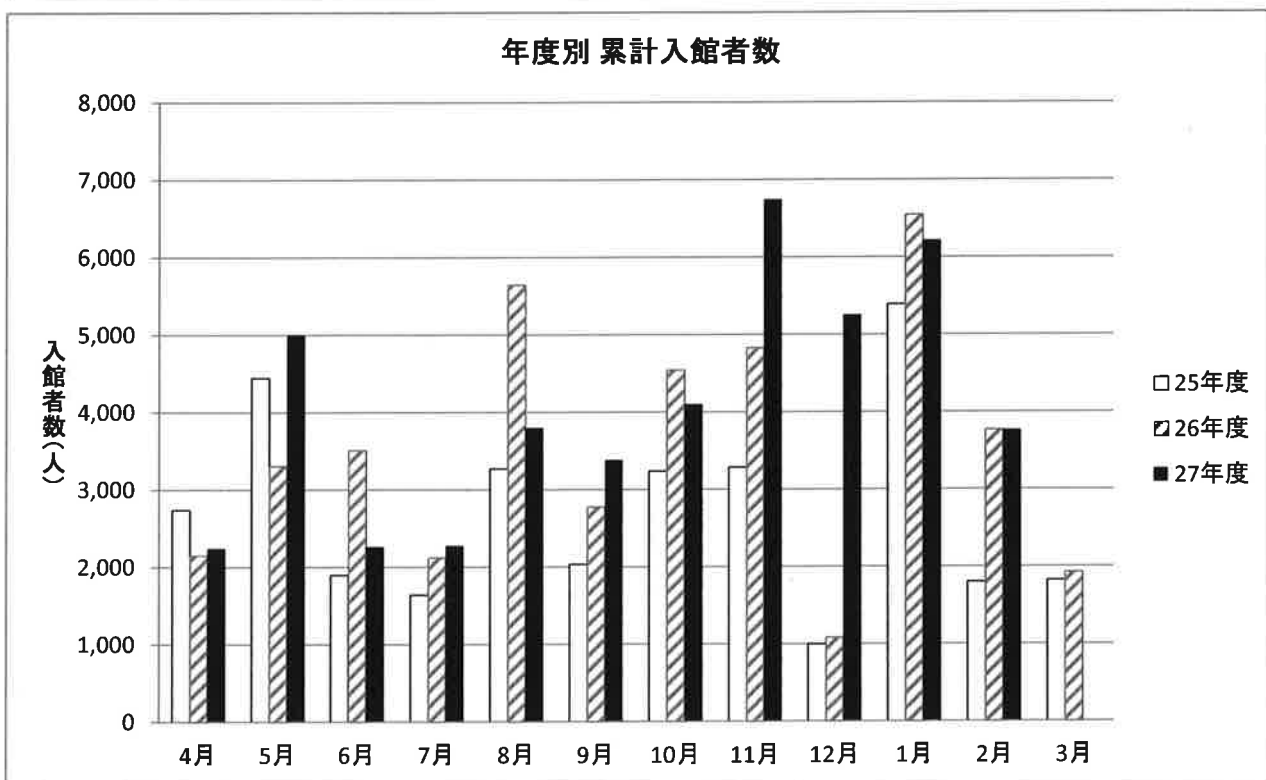
| 事業名 | 実績 | | 備考 |
|------------------|-------------------------|--------------------------|----|
| | H27 | H26 | |
| ①館内授業・出前授業・探検ツアー | | | |
| 館内授業 | 56校、2,420人 | 27校、1,234人 | |
| 出前授業 | 26校、1,861人 | 24校、1,768人 | |
| ②吉備の国ジュニア歴史スクール | 7校、110人 | 2校、70人 | |
| ③ジュニア学芸員講座 | 20人 | 14人 | |
| ④博物館講座 | スタンダード 98人 スペシャル 79人 | スタンダード 108人 スペシャル 72人 | |
| ⑤博物館実習 | 1回、15人 | 1回、15人 | |
| ⑥中学生職場体験 | 4校、8人 | 10校、29人 | |

ウ 入館状況

月別入館者数

(単位:人)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 計 | 2月末現在 |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 25年度 | 2,737 | 4,444 | 1,898 | 1,639 | 3,268 | 2,033 | 3,238 | 3,288 | 994 | 5,390 | 1,800 | 1,822 | 32,551 | 30,729 |
| 26年度 | 2,151 | 3,306 | 3,510 | 2,119 | 5,643 | 2,776 | 4,542 | 4,832 | 1,082 | 6,548 | 3,767 | 1,926 | 42,202 | 40,276 |
| 27年度 | 2,244 | 5,003 | 2,262 | 2,277 | 3,799 | 3,383 | 4,101 | 6,746 | 5,257 | 6,220 | 3,673 | | 44,965 | 44,965 |

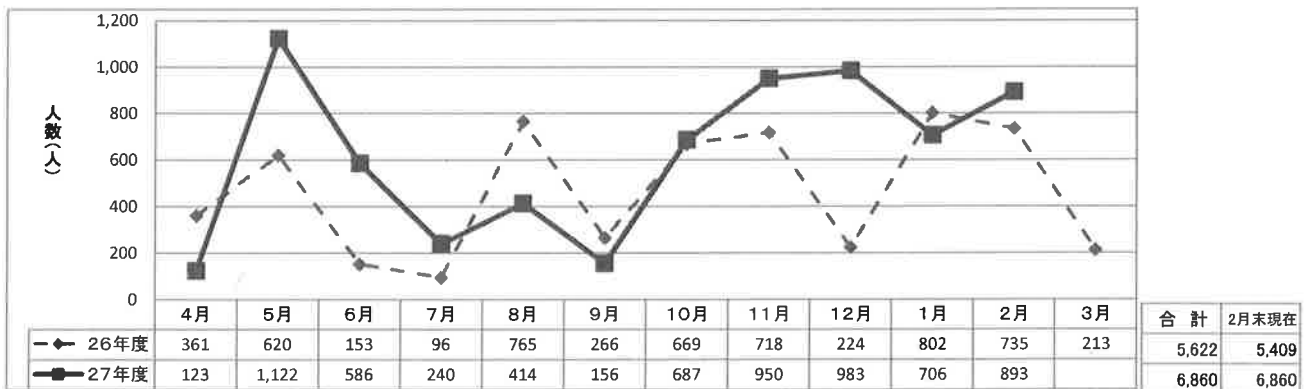


展覧会別入館者

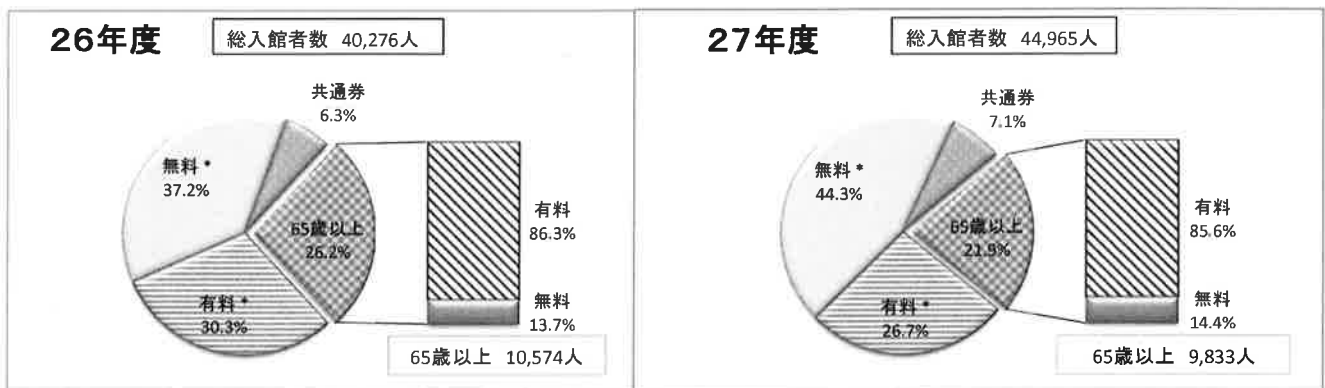
平成28年2月29日現在

| 展覧会名 | | 目標に対する実績 | | 達成率 | 入館者の割合 一般 65歳以上 高校生以下 | | |
|------|-------------------|----------|---------|--------|-----------------------|--|--|
| 企画展 | 岡山カルチャーゾーン の魅力 | 目標 | 8,000人 | 84.7% | | | |
| | | 実績 | 6,779人 | | | | |
| 特別展 | 日本列島2015－新発見 | 目標 | 8,000人 | 120.3% | | | |
| | | 実績 | 9,626人 | | | | |
| | 破格――桃山備前―― | 目標 | 6,000人 | 139.8% | | | |
| | | 実績 | 8,387人 | | | | |
| 交流展 | 鳥取藩池田家32万石 | 目標 | 6,000人 | 77.9% | | | |
| 平常展 | | 目標 | 16,000人 | 96.9% | | | |
| | | 実績 | 15,497人 | | | | |
| 計 | | 目標 | 44,000人 | 102.2% | | | |
| | | 実績 | 44,965人 | | | | |

高校生以下の入館状況



入館者別割合《各年度とも2月末日現在で比較》



注：有料* 無料* は、65歳以外の入館者をいう。

岡山県立博物館 平成28年度展示計画(案)

平成28年1月30日現在

| | 第1室 (考古) | 第2室 (歴史・美術) | 第3室 (通史・特別陳列ほか) | 第4室 (備前焼・刀剣・工芸) | オープン スペース |
|------------------------------------|---|---|--|---|------------------------|
| (3/23)～4/17 春季展(2) 22(26)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— | ☆特別陳列「戦国武将の新出資料」 岡山の宗教美術～熊野信仰と修験道 洛中洛外遊楽図屏風 | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 人々のくらしと占い ～大国家文書の世界～ | 備前刀(新刀・新々刀) 備前焼の歴史 逸見東洋の世界 | ちやぶ台の ある風景 桃の節供 |
| 4/20～5/29 春季展(3) 35(40)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— | ☆特別陳列「大坂の陣を戦った岡山の武将たち」 岡山の宗教美術 いろいろな絵図 | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 洛中洛外図屏風 | 備前刀(名品選) 備前焼の歴史 ☆特別陳列「備前刀—日本の王者—」 | ちやぶ台の ある風景 端午の節供 |
| 6/1～7/10 夏季展(1) 35(40)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— | 岡山の荘園 岡山の宗教美術 いろいろな絵図 | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆特別陳列「刀身彫刻の美」 | 備前刀(名品選) 備前焼の歴史 撫川うちわ | ちやぶ台の ある風景 |
| 7/14～9/4 夏季展(2) 46(53)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— | ☆企画展「手しごと博覧会2016」 | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 岡山の鉄道 | 備前刀(赤羽刀) 備前焼の歴史 撫川うちわ | ちやぶ台の ある風景 |
| 9/9～10/16 特別展 33(38)日 | | | ☆特別展「カミとほとけの姿—岡山の信仰文化とその背景—」 | | |
| 10/21～11/20 特別展・秋季展 27(31)日 | 東寺百合文書世界記憶遺産登録記念 ☆特別展「新見荘～中世荘園の記憶～」 | | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) | 備前刀(奉納刀) 備前焼の歴史 | ちやぶ台の ある風景 |
| 11/25～12/25 冬季展(1) 27(31)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— ☆特別陳列「東京国立博物館から 里帰り！古代吉備の名宝」 | 江戸時代の医療 岡山の宗教美術 將軍の手紙 | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) | 備前刀(奉納刀) 備前焼の歴史 | ちやぶ台の ある風景 |
| 1/1～1/15 冬季展(2) 13(15)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— 「東京国立博物館から里帰り！ 古代吉備の名宝」 | 江戸時代の医療 岡山の宗教美術 將軍の手紙 | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) | 備前刀(戦国刀) 備前焼の歴史 ☆特別陳列「国宝赤韋威鏡」 | ちやぶ台の ある風景 |
| 1/19～2/26 交流展・冬季展(3) 34(39)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— 「東京国立博物館から里帰り！ 古代吉備の名宝」 | 岡山・鳥取文化交流事業Ⅱ ☆交流展「とっとり弥生の王国」 | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) | 備前刀(戦国刀) 備前焼の歴史 | ちやぶ台の ある風景 物語と民具 |
| 3/2～3/26 春季展(1) 22(25)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— | 岡山の宗教美術 おかやま人物事典「藤井高尚」 | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) ☆特別陳列「庭瀬藩主板倉家」 | 備前刀(新刀・新々刀) 備前焼の歴史 | ちやぶ台の ある風景 |
| 3/29～(4/23) 春季展(2) 23(26)日 | 古代吉備の世界 —岡山県内出土の考古資料— | 岡山の宗教美術 | 岡山の歴史早わかりコーナー(通史) 庭瀬藩主板倉家 | 備前刀の歴史(新刀・新々刀) 備前焼の歴史 | ちやぶ台の ある風景 |

平成28年度事業計画

ア 展覧会

| | |
|--------|--|
| 事業名 | 企画展「手しごと博覧会2016」 |
| 期間 | 平成28年7月14日(木)～9月4日(日) |
| 趣旨 | <p>私たちは、身近にある材料を使い、より便利に、より安全により豊かな暮らしのために、様々なものを「手しごと」により生み出してきた。しかし、近年では、後継者が見つからない、材料が手に入りにくいなどの理由により失われつつある「手しごと」もある。</p> <p>この度の展覧会では、麦わら帽子を編むときの材料に使われた麦稈真田、早島町や倉敷市のい草製品、新見で生産される備中漆や蒜山の郷原漆器など、製法や道具を紹介する。</p> |
| 主要展示資料 | <p>麦稈真田制作道具一式 浅口市教育委員会蔵</p> <p>郷原漆器制作道具 登録有形民俗文化財 真庭市教育委員会蔵</p> |
| 関連行事等 | <p>①ワークショップ</p> <p>第1回 オリジナルの木皿作り(仮)</p> <p>第2回 真田を組んでみよう(仮)</p> <p>第3回 織機体験(仮)</p> <p>第4回 マイコースター作り(仮)</p> <p>第5回 真田紐でブレスレット作り(仮)</p> <p>②学芸員による展示解説</p> |
| 備考 | 入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料 (1室使用) |

| | |
|--------|--|
| 事業名 | 特別展「カミとほとけの姿—岡山の信仰文化とその背景—」 |
| 期間 | 平成28年9月9日(金)～10月16日(日) |
| 趣旨 | <p>6世紀半ばに仏教が日本へ伝わった後、古来のカミと外来のほとけに対する信仰は不可分に結びついた。平安時代から中世にかけて、カミとほとけを共に祀ることは当たり前の光景となった。これを神仏習合という。岡山に残されるカミとほとけの姿を表した彫像と絵画—宗教美術品—を展示するとともに、関連する歴史資料・考古資料とあわせて、カミとほとけの姿から垣間見える岡山の信仰文化を紹介する。</p> |
| 主要展示資料 | <p>四葉蓮華文鎧瓦・蓮華文鬼瓦・花枝文軒平瓦 飛鳥時代 倉敷市・吉備寺蔵</p> <p>木造聖観音菩薩立像 平安時代 岡山市・明王寺</p> <p>木造神号額 平安時代 津山市・高野神社蔵</p> <p>絹本著色阿弥陀二十五菩薩来迎図 瀬戸内市・遍妙院蔵 他約120点</p> |
| 関連行事等 | <p>①記念講演会 3回</p> <p>②学芸員による展示解説</p> |
| 備考 | 入館料 大人650円、65歳以上320円、高校生200円、小人180円、5歳未満無料 (4室使用) |

| | |
|--------|---|
| 事業名 | 東寺百合文書世界記憶遺産登録記念 特別展「新見荘～中世荘園の記憶～」 |
| 期間 | 平成28年10月21日(金)～11月20日(日) |
| 趣旨 | 国宝 東寺百合文書は、京都の東寺に伝えられた日本中世の古文書である。8世紀から18世紀までの約千年間の、およそ2万5千通に及ぶ膨大な量の古文書群であり、昨年、ユネスコが主催する世界記憶遺産に登録された。本展覧会では、これを記念して、同文書群のうち新見荘に関する文書を取り上げ、新見荘の事例を中心に荘園の世界を紹介する。 |
| 主要展示資料 | 国宝 東寺百合文書 京都府立総合資料館蔵 のうち ・たまかき書状并備中国新見庄代官祐清遺品注文 寛正4(1463)年 ・備中国新見庄三職連署注進状 寛正4(1463)年 備中国足守荘図 嘉応元(1169)年 京都市 神護寺蔵 備中国賀陽郡服部郷図写 江戸時代 岡山県立図書館蔵 他 |
| 関連行事等 | ①記念講演会 第1回 備中国新見荘の復元(仮題) 海老澤 衷氏(早稲田大学教授) 第2回 世界記憶遺産 東寺百合文書の世界(仮題) 京都府総合資料館学芸員 ②特別解説会 解説者 岡山県朝日高等学校教諭 原田芳雄氏 ③学芸員による展示解説 |
| 備考 | 入館料 大人450円、65歳以上220円、高校生100円、小人80円、5歳未満無料(2室使用) |

| | |
|--------|--|
| 事業名 | 交流展 岡山・鳥取文化交流事業 II「とっとり弥生の王国－青谷上寺地遺跡と妻木晩田遺跡」 |
| 期間 | 平成29年1月19日(木)～2月26日(日) |
| 趣旨 | 平成27年度からはじまった岡山県と鳥取県の文化交流事業では、両県立博物館の連携による展覧会開催を通してネットワーク構築を進めている。2年目は、弥生時代の鳥取県について、地下の弥生博物館ともいわれる国史跡青谷上寺地遺跡と、国内最大級の弥生集落である国史跡妻木晩田遺跡の発掘調査成果を中心に紹介する。あわせて、同時期の吉備文化との比較を通して、両県の歴史遺産を活用した相互交流を一層促進する。 |
| 主要展示資料 | 青谷上寺地遺跡出土品 弥生時代 鳥取県教育委員会蔵 妻木晩田遺跡出土品 弥生時代 大山町教育委員会蔵 |
| 関連行事等 | ①記念講演会「鳥取弥生文化の研究最前線(仮題)」 ②ワークショップ 鳥取県立むきばんだ史跡公園職員 ③ボランティアによる展示ガイド ④学芸員による展示解説 |
| 備考 | 入館料 大人250円、65歳以上120円、高校生以下無料(1室使用) |

平成 28 年 度 予 算 (案)

[県 費]

【 歳 入 】

(単位：千円)

| 財 源 内 訳 | 28年度 | 27年度 | 増 減 | 備 考 |
|----------|--------|--------|-------|-------------------|
| 使用料及び手数料 | 4,497 | 4,412 | 85 | 入館料、講堂使用料 |
| 諸 収 入 | 1,750 | 380 | 1,370 | 博物館講座受講料、電気代私費負担分 |
| 一 般 財 源 | 72,273 | 68,372 | 3,901 | |
| 合 計 | 78,520 | 73,164 | 5,356 | |

【 歳 出 】

(単位：千円)

| 項 目 名 | 28年度 | 27年度 | 増 減 | 備 考 |
|--------------|--------|--------|---------|----------------|
| ①展覧会事業 | 16,270 | 17,047 | ▲ 777 | |
| ＜内訳＞ | | | | |
| ・企画展(1回)、平常展 | 3,819 | 3,453 | 366 | |
| ・特別展(2回) | 9,549 | 10,713 | ▲ 1,164 | |
| ・鳥取県との交流展 | 2,902 | 2,881 | 21 | |
| ②教育普及事業 | 380 | 380 | 0 | |
| ＜内訳＞ | | | | |
| ・博物館講座 | 380 | 380 | 0 | |
| ③資料購入費(修繕費) | 789 | 486 | 303 | |
| ④博物館協議会 | 324 | 324 | 0 | |
| ⑤維持管理費 | 60,757 | 54,927 | 5,830 | 改修基本計画策定1200千円 |
| 合 計 | 78,520 | 73,164 | 5,356 | |

[26年度末補正(27年度への繰越事業)]

(単位：千円)

| 項 目 名 | 28年度 | 27年度 | 増 減 | 備 考 |
|---------------|------|--------|----------|-------------------------|
| 県立博物館魅力アップ事業 | 0 | 15,300 | ▲ 15,300 | |
| ＜内訳＞ | 0 | | | |
| ・常設展示用レプリカ等作成 | 0 | 8,300 | ▲ 8,300 | 国の地方創世を目指した交付金制度を活用した事業 |
| ・体験用鎧・兜の整備 | 0 | 4,500 | ▲ 4,500 | |
| ・博物館広報スタッフの配置 | 0 | 2,500 | ▲ 2,500 | |
| 合 計 | 0 | 15,300 | ▲ 15,300 | |

[岡山県教育職員互助組合の助成] <予定>

(単位：千円)

| 項 目 名 | 28年度 | 27年度 | 増 減 | 備 考 |
|----------------|-------|-------|-----|-----|
| 吉備の国ジュニア歴史スクール | 1,225 | 1,225 | 0 | |
| ジュニア学芸員講座 | 300 | 300 | 0 | |
| 合 計 | 1,525 | 1,525 | 0 | |

長期展示計画(案)

| 企画展 | | 特別展 | | 交流展 | | 交流展(他会場) | |
|-----|------|-----------|------------------|--------------------------------|---|---------------------------------------|--|
| 年度 | | 2室 | 4室 | | | | |
| 28 | 2016 | 手しごと博覧会 | 新見荘 ～中世荘園の記憶～ | カミとほとけの姿 —岡山の信仰文化とそ の背景— | (中四国博物館ネットワーク構築事業) 岡山・鳥取文化交流事業 Ⅱ 「とっとり弥生の王国」 | | |
| 29 | 2017 | 江戸時代岡山の教育 | 虫明焼(伊木三猿齋) | 備前刀 —日本刀の王者— | (中四国博物館ネットワーク構築事業) 鳥取の歴史と文化Ⅲ 「鳥取藩の絵師」 | 「池田光政鳥取開府400 年」 | |
| 30 | 2018 | 瀬戸内源平合戦 | 岡山の戦国時代 | 百花繚乱 ～近世絵画の美と形～ | (中四国博物館ネットワーク構築事業) (徳島の歴史と文化Ⅰ) | (中四国博物館ネットワーク構築事業) (岡山の歴史と文化Ⅰ) | |
| 31 | 2019 | ほとけのひみつ | ヤマト王権と吉備 | 岡山の医療 | (中四国博物館ネットワーク構築事業) (徳島の歴史と文化Ⅱ) | (中四国博物館ネットワーク構築事業) (岡山の歴史と文化Ⅱ) | |
| 32 | 2020 | 岡山の絵馬 | 岡山の書 | 50周年記念 | (中四国博物館ネットワーク構築事業) (徳島の歴史と文化Ⅲ) | (中四国博物館ネットワーク構築 事業) (岡山の歴史と文化Ⅲ) | |

(4) サービス向上への取組について

| |
|--|
| 展示活動 |
| <p>1 県立博物館魅力アップ事業（地方創生交付金事業）の実施</p> <ul style="list-style-type: none">◇広報スタッフの配置（27年4月～）◇試着用甲冑の整備（大人用5 子供用4）（27年9月） 岡山教育の日や正月開館時に試着体験会を実施◇案内表示、解説パネルの多言語化（27年12月） 日本語に加え、英語、韓国語、中国語（簡体字、繁体字）で作成◇展示用レプリカの作成（28年3月）◇展示室スポットライトのLED化（28年3月） <p>2 連携事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none">◇「岡山カルチャーゾーンの魅力」 → カルチャーゾーン加盟12施設「破格ー桃山備前ー」 → 岡山県備前焼陶友会青年部「発掘された日本列島2015」 → 文化庁、古代吉備文化財センター他「鳥取藩池田家32万石」 → 鳥取県立博物館、林原美術館 <p>展覧会毎に、連携事業の実施やミュージアムグッズの販売を行うとともに、広報活動の協力を得た。</p> <p>3 キャラクターによる解説</p> <ul style="list-style-type: none">◇ハニーとふんどー（埴輪と分銅）、光政君（池田光政）等のキャラクターによる平易な解説キャプションを設置した。 <p>4 無料開館及び臨時開館</p> <ul style="list-style-type: none">◇昨年度実施した開館記念日（8月29日）、元日に加え、国際博物館の日（5月17日）、岡山教育の日（11月1日）、後楽園開園記念日（3月2日）を無料開館とした。特に3月2日は、約2000名の入館者があった。◇正月（1月1日～3日）を臨時開館とし、特に元日は無料開館でもあり、1日で約3700名の入館者があった。 |
| 学校教育との連携(教育普及事業) |
| <p>1 昨年に引き続き「ジュニア学芸員講座」を開催した。 8月</p> <p>2 初任者研修での館蔵資料を活用した体験授業の実施した。 1月23日、30日</p> <p>3 おかやま教育支援活動メニューフェアへ参加し学校関係者に博物館の利用を紹介するとともに、教育利用促進のためのパンフレットを全校に配布した。12月、3月</p> <p>4 教員免許更新講習の講座を大学との連携により開催した。</p> |
| 広報活動 |
| <p>1 魅力アップ事業により、専属の博物館広報スタッフを配置し、マスコミや近隣地域への広報活動を行った。</p> <p>2 フェイスブックの更新頻度を高めるとともに、twitter を新たに開始し、タイムリーな情報の発信に努めるとともに、ホームページの更新頻度を高めた。</p> <p>3 ポスター、看板、のぼり等のデザインを一新し、誘客効果を高めた。</p> <p>4 従来の新聞広告に加え、「岡山カルチャーゾーンの魅力」と「発掘された日本列島2015ー新発見考古速報ー」ではテレビ、ラジオのコマーシャルを放映した。</p> |
| その他（利用環境、アクセスの充実） |
| <p>1 館外、館内の案内表示を多言語化した。</p> <p>2 利用者アンケートで、大便器が冷たいとの声が多かったため、保温便座に交換した。</p> <p>3 国際交流員を招き、受付担当者に英会話研修を行った。</p> |

岡山県立博物館協議会条例

〔昭和46年6月25日〕
〔岡山県条例第47号〕

(設置)

第1条 岡山県立博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として、岡山県立博物館に岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員の任命の基準)

第2条 協議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者のうちから、教育委員会が任命する。

(委員の定数)

第3条 委員の定数は、20人以内とする。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(その他)

第5条 この条例に定めるもののほか、協議会の運営について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和46年7月1日から施行する。

2 (略)

岡山県立博物館協議会運営規則

〔昭和46年7月1日〕
〔岡山県教育委員会規則第13号〕

(趣旨)

第1条 この規則は、岡山県立博物館協議会条例（昭和46年岡山県条例第47号）第5条の規定に基づき、岡山県立博物館協議会（以下「協議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(議長及び副議長)

第2条 協議会の会議（以下「会議」という。）に、議長及び副議長を置く。

2 議長及び副議長は、岡山県立博物館協議会の委員（以下「委員」という。）の互選により定める。

3 議長及び副議長の任期は、委員としての在任期間とする。

4 議長は、会議を主宰する。議長に事故のあるときは、副議長がその職務を代行する。

(招集)

第3条 会議は、岡山県立博物館長が招集する。

2 会議の招集は、会議開催の場所、日時及び会議に付すべき案件をあらかじめ各委員に通知して行なう。ただし、緊急の場合は、この限りでない。

(定足数及び表決)

第4条 会議は、委員の過半数以上が出席しなければ開くことができない。

2 会議の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(職員の説明及び資料の提出)

第5条 委員は、会議において関係職員に対して、説明又は資料の提出を求めることができる。

(職員の出席)

第6条 関係職員は、会議に出席して意見を述べるができる。

(その他)

第7条 この規則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は協議会が別に定める。

附 則

(施行期日)

この規則は、公布の日から施行する。

岡山県立博物館協議会委員

任期2年（平成27年2月5日～平成29年2月4日）

平成27年7月現在

| 番号 | 氏名 | 区分 | 現職 | 就任年月 | 備考 |
|----|-----------------|---------|--------------------------------|-------|-----|
| 1 | 森 寺 勝 之 | 学校教育関係者 | 吉備中央町立吉備高原小学校長 | H26.7 | |
| 2 | 小 田 洋 子 | 〃 | 備前市立吉永中学校教頭 | H27.2 | |
| 3 | 松 下 晶 子 | 〃 | 岡山県立笠岡高等学校長 | H25.7 | |
| 4 | 丸 池 宣 子 | 社会教育関係者 | 岡山県婦人協議会理事 | H25.2 | |
| 5 | 岡 本 啓 | 〃 | 岡山県生涯学習センター所長 | H25.7 | 会 長 |
| 6 | 延 江 典 子 | 〃 | 岡山県青年団協議会 会長 | H25.2 | |
| 7 | 宇 野 均 恵 | 家庭教育関係者 | NPO法人子ども劇場笠岡センター理事長 | H21.2 | |
| 8 | 長 江 真理子 | 〃 | NPO法人みる・あそぶ・そだつ津山子ども広場 代表理事 | H21.2 | |
| 9 | 岡 本 隆 明 | 学識経験者 | (株)山方永寿堂代表取締役社長 | H23.2 | |
| 10 | 藤 實 久美子 | 〃 | ノートルダム清心女子大学文学部 現代社会学科教授 | H23.2 | 副会長 |
| 11 | 光 本 順 | 〃 | 岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授 | H26.7 | |
| 12 | 吉 本 正 志 (号)正 | 〃 | 日本工芸会中国支部幹事長 | H23.2 | |
| 13 | 井 戸 恒 雄 | 〃 | 山陽放送(株)総務局総務参事 | H27.2 | |
| 14 | 清 水 玲 子 | 〃 | (株)山陽新聞社編集局文化部長 | H26.7 | |
| 15 | 鳥 井 良 輔 | 〃 | 岡山県議会議員 | H27.6 | |

職 員 一 覧

教育委員会事務局

| 職 名 | 氏 名 | 備 考 |
|-------|------|-----|
| 文化財課長 | 山田寛人 | |

岡山県立博物館職員

| 職 名 | 氏 名 | 備 考 | |
|-------------|---------|------------|--|
| 館 長 | 谷 名 隆 治 | | |
| 副 館 長 | 三 宅 克 広 | | |
| 総 括 参 事 | 片 山 明 浩 | (総務課長事務取扱) | |
| 総 務 課 | 主 任 | 瀧 元 弘 美 | |
| | 主 任 | 友 定 治 道 | |
| | 主 事 | 小 島 宣 枝 | |
| 学 芸 課 | 学 芸 課 長 | 竹 原 伸 之 | |
| | 主 幹 | 内 池 英 樹 | |
| | 学芸員(主幹) | 佐 藤 寛 介 | |
| | 学芸員(主任) | 重 根 弘 和 | |
| | 学芸員(主任) | 和 田 剛 | |
| | 学芸員(主任) | 野 田 繭 子 | |